

# 除間伐試験結果に基づく海岸林の密度管理方法の提案

林業試験場 森林環境部 環境グループ 真坂 一彦  
阿部 友幸

## 海岸林管理の問題点

- ・高密度植栽 (10,000本/ha) **焼石に水**
- ・保安林の指定施業要件に従った密度管理 (H14年まで伐採率上限20%, H14年以降35%)

## 過密化 → 脆弱な林分

強度の除間伐が必要だが、怖くて伐れない、どの程度伐っているのかもわからない

研究の目的

林分密度管理図を作成し、除間伐試験で得られた知見を踏まえた現実的な密度管理方法を作成

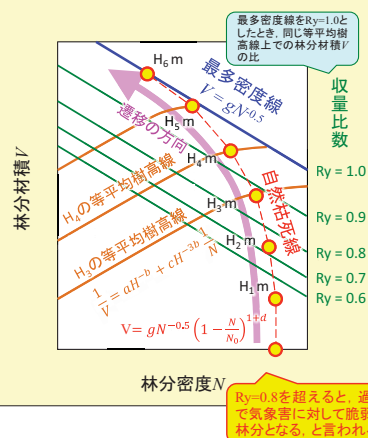
## 対象樹種

クロマツ、グイマツ、カシワ

## 作業の流れ

1. 林分密度管理図の作成
2. 除間伐試験結果の重ね合わせ  
林分の軌跡と収量比数の関係
3. 地位指数曲線による成長予測  
から**施業体系図**を作成

## 林分密度管理図の概念図



## 施業体系図の提案

### 林分密度管理図

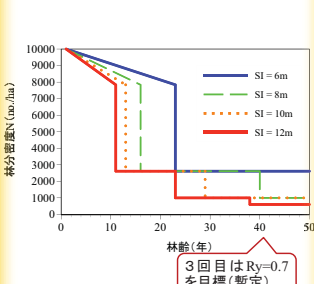
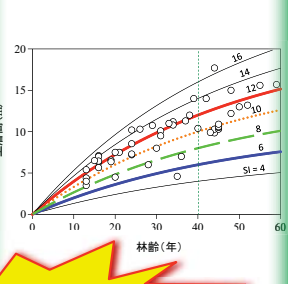
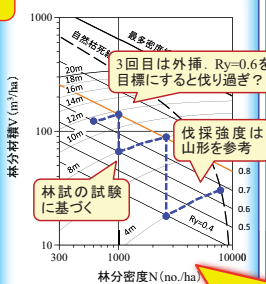
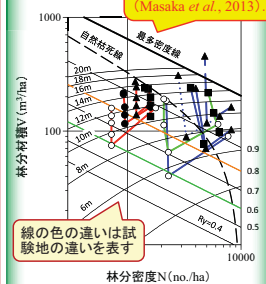
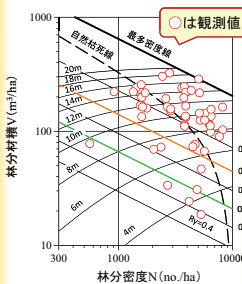
### 除間伐試験

### 施業経路(提案)

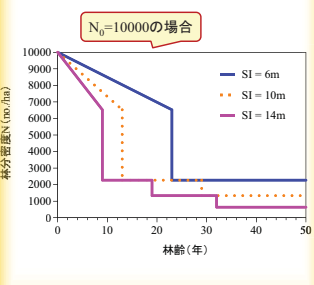
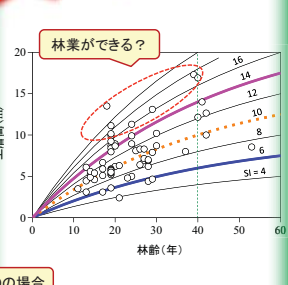
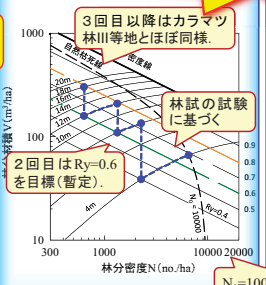
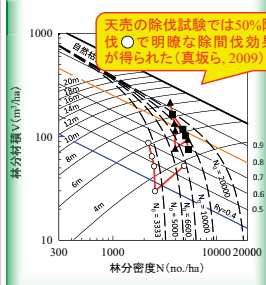
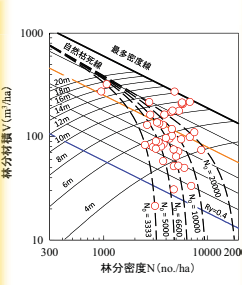
### 地位指数曲線

### 施業体系図

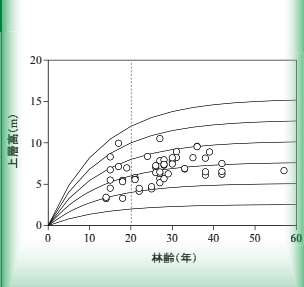
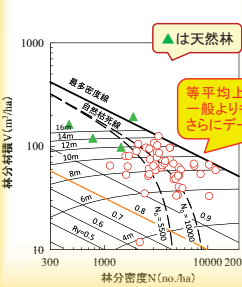
### ①クロマツの場合



### ②グイマツの場合 (暫定版)



### ③カシワの場合 (あと2年データ取ります)



海岸林の密度管理は、若齢時に密度を強度に落とせば、造成後50年間で1~3回程度の除間伐では間に合いそう。今後は、データをさらに蓄積して密度管理図の頑健性を高める予定。